

目 次

まえがき v

第1章 価値評価の意味論：暗黙の語彙的原理…………… 1

はじめに 2

1.1. ゼロの意味解釈 3

1.2. 空間概念と比喩的延長 8

1.2.1. 場所 11

1.2.2. 形・秩序 17

1.2.3. 全体と断片 21

1.3. まとめと展望 26

1.3.1. 基層原理の発見 26

1.3.2. 基層原理の性格 33

第2章 名実の意味論…………… 37

はじめに 38

2.1. 多重境界線：外なる境界線と内なる境界線 40

2.2. 「らしい」のあいまい性：「推定」と「典型」 43

2.3. カテゴリー化という問題 47

2.3.1. 内部対立と外部対立：カテゴリー内否定とカテゴリー外否定 48

2.3.2. カテゴリーの中心と周縁 60

2.4. [±名, ±実]の意味論 69

2.5. 〈身分け構造〉・〈言分け構造〉・〈選り分け構造〉	94
2.6. さまざまな境界論：否定と肯定の対立	110
第3章 リアルという問題	127
はじめに	128
3.1. 三つのフィルター構造	129
3.2. 事実と価値評価：「ある」と「あるべき」の共存	137
3.3. real の意味論	156
3.4. リアルの深層	172
あとがき	181
参考文献	185
索引	191